

新会長就任

山口県 PTA 連合会定例総会が 6 月 6 日に開かれ、岩国市 PTA 連合会の菊重隆之さんが新会長として就任しました。「皆さんと力を合わせて、素敵な魅力のある山口県 PTA 連合会にしていきたいと思えます。」と挨拶し、林前会長より日本 PTA のバッチを引き継ぎました。【行きたい学校・帰りたい家庭をめざして 創り上げていく PTA 活動】をスローガンに掲げ、菊重会長率いる新体制がスタートしました。



新キャラクター誕生

マスコットキャラクター表彰式

会長賞 西田 朱也子さん



山口県 PTA 連合会のマスコットキャラクターが決定しました。全国からの公募の中より山口大附属山口中 3 年の西田朱也子さんの作品が最優秀賞にあたる会長賞に選ばれ 6 月 6 日県教育会館にて表彰式が行われました。式には他に優秀賞の兼森千歩さんが出席し、林前会長より表彰状と記念品が贈られました。受賞後、西田さんの喜びの声をインタビューさせていただきました。

受賞後の西田さんの喜びの声

西田さん

どんな思いを込めてデザインしたの？

フクロウにしたのは、見守ってるというか…。鳥って木にとまっているイメージで最初は鳥みたいのに 3 本爪にしてたんですけど、「それだったら鳥は木にとまるから上から目線になるんじゃない」と顧問の先生に教えてもらって、上から目線にならないで、ちゃんと足を地につけるために靴を履かせました。帽子は PTA の P になっていて毛の色は山口県の夏みかん色。

西田さん

この知らせを聞いたときはどんな感じがしましたか？

信じられなかったです。来てみて、いろんなポーズのシールが出来上がっていて、受賞を実感できて嬉しかったです。

西田さん

見た人にとってどんなキャラクターになって欲しいですか？なんか感じてもらいたいものがありますか？

見守られている…。

西田さん

今後どんなふうに使ってもらいたいですか？

シールとかいろんなところで見かけられたらうれしいなと思います。

おやごころ 108 号は、小規模校の PTA 活動についてご紹介します。小規模校に取材に行かせてもらいます。どこの学校に行くかはまだ未定。取材 OK の学校は是非ご連絡を！

山口県 PTA 連合会広報紙コンクール

平成 26 年度山口県 PTA 連合会広報紙コンクール表彰式が 5 月 16 日（土）県教育会館大ホールで行われました。応募総数 191 校の中から知事賞に長門市立深川中学校と宇部市立上宇部小学校の 2 校、教育長賞に 8 校、会長賞に 13 校が選ばれました。表彰後、審査委員長で山口朝日放送・報道制作部担当部長の十川賢次様より審査の講評をいただきました。知事賞と教育長賞に選ばれた 10 校の広報紙は PTA 全国協議会が主催する全国小中学校 PTA 広報紙コンクールに山口県代表として推薦致します。



広報紙作り方研修会

広報紙コンクール表彰式後、広報紙作り方研修会が行われました。今年はパネルディスカッション形式で行われ、大橋広宣広報委員長がコーディネーターを務め、山口朝日放送・報道制作部担当部長 十川賢次様と現役 PTA 会員でもある山口県タウン情報トライアングル編集室長 小林未央様をパネリストに迎え、『〇〇学校の広報紙を作ろう』と構成の話合いから始まりました。途中、受賞された広報紙の良かった点の紹介や、その他作成するにあたってのアドバイスを取り入れながら進んでいきました。トークも楽しく参加者が「より良い広報紙を作りたい」と思うそんな実りのある研修会になりました。事前に PTA 広報紙についてアンケートを実施しました。結果については以下の通りでした。



広報紙アンケートより（回答 4 4 校）

広報紙年間予算		広報紙年間発行回数	
10 万円未満	5 校	1 回	2 校
10 万円台	9 校	2 回	10 校
20 万円台	7 校	3 回	18 校
30 万円台	10 校	4 回	2 校
40 万円台	3 校	その他	2 校
50 万円以上	5 校		
その他	5 校		

印刷業者の活用	配布対象者
している：36 校 していない：4 校 その他：4 校	PTA・地域・その他（市内小中学校・地域回覧）

<研修>

PTA は、ぱあ〜っと、明るく、楽しい活動です。

定例総会前、26 年度で退任される八木前副会長と有元前副会長が PTA 活動を通して良かったことを発表して下さいました。PTA の存在意義が問われる今日、お二人が PTA 活動をする前のイメージは「雲の上の存在」でありあまり良いものではなかったようです。しかし、実際活動してみると「知り合いが増える」「学校の様子が分かる」「子どもと共通の話題ができる」など得るものも多く、今では「やってよかった。」と思えるようになったとのことでした。生活スタイルが多様な中、例年通りの動きをするのではなく目的をはっきりさせ、その年のやり易い方法で長続きする活動すること。何より自分が楽しむことが重要だと実感しました。



第二回山口県 PTA 川柳入選句発表

講評：藤本一兔（五平太川柳会／山口県 PTA 連合会総務副委員長）

◇総評

第二回目の川柳の募集には、17 名の方から 38 句の投稿がありました。今回のテーマは「進学・進級」でした。秀句揃いでしたが、躍動感のある句を入選としました。

(入選句)

◇小学校低学年の部

ねむいけどランドセルおいはじまりだ

美祢市立別府小学校 3 年生 林結衣

講評：春休みが明けた新学期。期待と不安に揺れる気持ちが上手に表現されています。

◇小学校高学年の部

六年は責任重大プレッシャー

下関市立川棚小学校 6 年生 岡本一輝

講評：初めて最高学年を自覚するのが小六でしょう。真摯な人柄が浮かぶ作品です。

◇中学校の部

春風の香りとともに衣替え

下関市立安岡中学校 1 年生 村岡京

講評：一般の部で投稿されても選ばれるような秀句です。余韻の残る、いい句です。

◇一般（小学校 PTA）の部

幼なさを残し新たな門くぐる

周南市立徳山小学校 PTA 上村尚子

講評：あふれるような子どもへの愛情が感じられる句です。親の心をつかむ句です。

◇一般（中学校 PTA）の部

三年で何回直すのズボン丈

山口市立川西中学校 PTA 中村松津子

講評：ズボンの丈直しは、煩わしい一方、子どもの成長が感じられ嬉しいものです。

